

奥野小学校の 校区“**おくの**”って、どんなところ？

地区の**人口動向**を調べて

- 1) 牛久市の成り立ち
- 2) 校区“奥野の魅力”

平成26年8月

林 省三

小坂団地4ブロック19班

牛久市教育委員会 情報教育サポーター

茨城県のなかの**牛久市**

牛久市の成り立ち:江戸後期から今

[_http://homepage2.nifty.com/dejicon/z-DC/okunoes/Kouku-okuno/kouku-furoku1.htm](http://homepage2.nifty.com/dejicon/z-DC/okunoes/Kouku-okuno/kouku-furoku1.htm)



日本の総面積:377,835km²



牛久市の面積:58.88km²
 茨城県の面積:6095.69km²



昔から今 牛久市のなりたち

○ 明治22年

町制施行
明治憲法公布

ここから
“奥野”

○ 昭和29年

1月 牛久村から牛久町

4月 岡田村合併牛久町

○ 昭和30年

2月 奥野村編入牛久町

○ 昭和61年

6月1日
『牛久市』
市制施行

現行政区を
昭和30年以前の
旧村単位に集約

○ 平成26年

牛久地区=21行政区

上町～エスカードビル迄

岡田地区=43行政区

みはらし合～コモンステージ迄

奥野地区=12行政区

久野～向原迄

「行政区別人口*世帯数」
総合窓口課資料

参考1)

明治初年



【河内郡】

庄兵衛新田村、新地村、城中村、田宮村、牛久村、遠山村、猪子村、柏田村、結束村、東猫穴村、東大和田村、中根村、下根村、岡見村、上太田村

【信太郡】

小坂村、久野村、正直村、島田村、桂村、井ノ岡村、奥原村、福田村の一部

参考2)

明治22年
(町村制施行)

明治29年1月1日 改称
 河内郡 牛久村 → 稲敷郡 牛久村
 河内郡 岡田村 → 稲敷郡 岡田村
 信太郡 奥野村 → 稲敷郡 奥野村
 信太郡 朝日村 → 稲敷郡 朝日村

昭和29年1月1日 町制施行
 稲敷郡 牛久村 → 稲敷郡 牛久町



参考3)

昭和29年4月1日
(第一次合併)

稲敷郡 阿見町 福田の一部
 → 昭和32年7月1日編入

稲敷郡 奥野村
 → 昭和30年2月10日
 編入合併

昭和30年2月1日
(奥野村編入合併)



25年度 牛久市の世帯数？人口？



合計 84,019

男性 41,586

女性 42,433

世帯数34,160

一世帯の構成員2.5名

平成26年4月1日現在

昔から今 牛久市と全国:人口の伸び

明治22年(1889年)基準

昭和のデータは 国勢調査	1889 明治22年	1955 昭和30年	1965 昭和40年	1985 昭和60年	2010 平成22年
日本の全人口	4,007万	8,928万	9,827万	12,104万	12,805万
伸び率	1.00	2.23	2.45	3.02	3.20
牛久市の人口	6,664	15,747	17,023	51,926	81,684
伸び率	1.00	2.36	2.55	7.79	12.26

参考) 明治5年(1872年)日本の人口3,311万人

昔から今 牛久市“旧村3地区”别人口の伸び

○ 明治22年 ○ 昭和30年 ○ 昭和40年 ○ 昭和61年 ○ 平成25年

	明治22年	昭和30年	昭和40年	昭和61年	平成25年
牛久市人口合計	6,664	15,747	17,651	52,501	84,019
伸び率	1.00	2.36	2.65	7.88	12.61
牛久地区	2,078	5,418	6,788	25,645	30,772
上町～エスカードビル迄	1.00	2.61	3.27	12.34	14.81
岡田地区	2,018	5,950	6,384	20,672	47,962
みはらし台～コモンステージ迄	1.00	2.95	3.16	10.24	23.77
奥野地区	2,568	4,379	4,389	6,184	5,285
久野～向原迄	1.00	1.71	1.71	2.41	2.06

昔から今 牛久市“旧村3地区”人口の割合

○ 明治22年 ○ 昭和30年 ○ 昭和40年 ○ 昭和61年 ○ 平成25年

	明治22年	昭和30年	昭和40年	昭和61年	平成25年
牛久地区	31%	34%	38%	49%	37%
上町～エスカードビル迄					
岡田地区	30%	38%	36%	39%	57%
みはらし台～コモンステージ迄					
奥野地区	39%	28%	25%	12%	6%
久野～向原迄					

昔から今 牛久市“旧村3地区”別人口・物流

- **明治・大正・昭和30迄** 牛久旧3村の人口比:ほぼ同じ
- ⇒牛久旧3村は農村地帯 物流は、水運
- **明治29年** 牛久村に**鉄道開通**⇒物流の主力は**鉄道**へ、昭和の高度成長期からは、**トラック輸送**へ
- **昭和41年** **首都圏近郊整備地帯指定** ⇒ **宅地開発**

昔から今 奥野小学校50周年

奥野第一、第二小と奥原分教場の統合

奥野小誕生まで：明治から今 <http://homepage2.nifty.com/okano/2014/okanocsa/kakuokunokaku/okunokaku/okunokaku2.htm>

○ 明治6・7年

山岡家塾
6年4月6日
山岡藤助
井ノ岡学舎
(浄妙寺)

栗山家塾
7年2月4日
栗山宗春
奥原学舎
(願名寺)

○ 明治22年

地区名称の変更
奥原村と久野村の
造語 **奥野村** へ
奥原小⇒奥野小

町村制施行
明治憲法公布

○ 昭和40年

牛久町立
奥野小学校誕生
卒業生 77名

40年5月
自衛隊勝田
施設学校と
地元住民
による整地作業

○ 昭和61年

牛久市

42年1月 第2期校舎
完成、全児童学習へ

43年2月6日
統合小学校校舎完成

○ 平成26年

奥野ハッピーパー
ティー8・1

50周年式典
11・20

牛久市の小中学校

牛久地区:3校 岡田地区:8校 奥野地区:2校



牛久市	小学生	中学生	合計
全体	4,619	2,052	6,671
奥野地区	193	90	283
割合	4.2%	4.4%	4.2%

平成26年5月1日現在

校区“奥野”をもう少し詳しく

- 昔の町名では9町、
久野、正直、島田、井ノ岡、奥原、
桂、福田(一部除く)、
小坂(一部除く)
岡見(一部を含む)

- 現在の行政区では、12行政区
久野、大和田、桂、報徳、井ノ岡、
奥原、島田、正直、中央、小坂、
小坂団地、向原

牛久市の成り立ち：江戸後期から今 (奥野小ホームページ)

<http://homepage2.nifty.com/dejicon/z-DC/okunoes/Kouku-okuno/kouku-furoku1.htm>

参考5) 校区“奥野”をもう少し詳しく:人口

昭和45基準伸び率

	45	61	7	10	19	25	61	7	10	19	25
久野	891	726	868	805	770	651	0.81	0.97	0.90	0.86	0.73
大和田	103	84	81	80	67	60	0.82	0.79	0.78	0.65	0.58
桂	338	356	335	333	297	262	1.05	0.99	0.99	0.88	0.78
報徳	170	165	168	160	145	125	0.97	0.99	0.94	0.85	0.74
井ノ岡	440	400	377	373	332	300	0.91	0.86	0.85	0.75	0.68
奥原	617	666	688	675	570	552	1.08	1.12	1.09	0.92	0.89
島田	303	317	294	303	272	246	1.05	0.97	1.00	0.90	0.81
正直	219	230	225	228	192	167	1.05	1.03	1.04	0.88	0.76
中央	121	183	135	126	132	119	1.51	1.12	1.04	1.09	0.98
小坂	518	548	561	522	457	431	1.06	1.08	1.01	0.88	0.83
向原	92	130	141	143	129	127	1.41	1.53	1.55	1.40	1.38
小坂団地	206	2,379	2,611	2,640	2,408	2,245	11.55	12.67	12.82	11.69	10.90
人口計	4,018	6,184	6,484	6,388	5,771	5,285	1.54	1.61	1.59	1.44	1.32

参考6) 校区“奥野”をもう少し詳しく:世帯数

昭和45基準伸び率

	45	61	7	10	19	25	61	7	10	19	25
久野	182	192	270	270	300	285	1.05	1.48	1.48	1.65	1.57
大和田	23	21	22	23	24	23	0.91	0.96	1.00	1.04	1.00
桂	72	80	85	86	89	96	1.11	1.18	1.19	1.24	1.33
報徳	39	41	44	44	46	46	1.05	1.13	1.13	1.18	1.18
井ノ岡	89	99	104	100	105	106	1.11	1.17	1.12	1.18	1.19
奥原	143	166	183	194	188	210	1.16	1.28	1.36	1.31	1.47
島田	65	75	75	80	83	81	1.15	1.15	1.23	1.28	1.25
正直	49	59	62	64	66	58	1.20	1.27	1.31	1.35	1.18
中央	34	45	37	37	41	41	1.32	1.09	1.09	1.21	1.21
小坂	106	128	142	141	152	159	1.21	1.34	1.33	1.43	1.50
向原	23	35	38	42	41	47	1.52	1.65	1.83	1.78	2.04
小坂団地	61	680	845	888	955	982	11.15	13.85	14.56	15.66	16.10
世帯計	886	1,621	1,907	1,969	2,090	2,134	1.83	2.15	2.22	2.36	2.41

校区“奥野”をさらに詳しく:人口・世帯数 小坂団地(流入人口)を除いたデータ

町村制施行

昭和45年基準世帯数伸び率

	明治 22	昭和 45	61	平成 7	10	19	25	昭和 45	61	平成 7	10	19	25
世帯数	-	825	941	1,062	1,081	1,135	1,152	-	1.14	1.29	1.31	1.38	1.40
人口	2568	3,812	3,805	3,873	3,748	3,363	3,040	-	1.00	1.02	0.98	0.88	0.80
奥野村							一世帯あたり	4.6	4.0	3.6	3.5	3.0	2.6
							明治22年基準人口伸び率	1.48	1.48	1.51	1.46	1.31	1.18

データは、久野、大和田、桂、報徳、井ノ岡、奥原、島田、正直、中央、小坂、向原行政区

“奥野”のデータからわかること

- 奥野地区の人口増は、44年1月25世帯からの新興住宅:小坂団地によるこの行政区を除くと、平成25年度末人口は、**3,040名**
- 明治22年と平成25年の人口比較、**1.2倍**
- 一世帯の構成員は、

団地データを除く11行政区では	3,040名/1,152世帯	2.6名/世帯
奥野地区全体平均では	5,285名/2,134世帯	2.5名/世帯
- 毎年、世帯構成員数は減少 **昭和45年:4.6名**

牛久市平均と同じ

“奥野”地区の人口に、大きな変化はない

	明治22年 1889年	→	平成24年 2013年	124年後
奥野	2,568		3,040	1.18倍
日本	4,007万		12,710万	3.17倍

“奥野”地区には、きっと“宝がある”

- 久野、正直、島田等歴史のある行政区では、世帯は増えるが、人は増えていない 世帯構成員は減少（明治22年対平成25年で 1.2倍）
- 大きな変化がないのは、家々に代々残され、守られているものがある？
- 生活の変化は、受け入れつつ、変らない家の存続は“**たから**”である
- 今から、そのたからを発掘しよう 19年度6学年の成果を発展させよう

家々に伝わる話（自慢話）をお聞かせください 私たちの祖先を旅する

参考7) せんぱい達の調べたこと

平成19年度総合学習の時間:6学年の成果発表・保存

統一テーマ 奥野の良さを伝えあおう

- 伝統ある行事を守ろう
- 奥野の文化財(願名寺)を広めよう
- 観音寺を広めよう
- 奥野の古墳を探ろう(奥原編)
- 奥野の古墳の秘密を探ろう(井ノ岡編)
- 鎌倉街道
- 未来へ伝えよう城の歴史
- 奥野の農産物
- 奥野の人を知ろう
- ドングリの会を広めよう

奥野小ホームページの「わたし達の校区“奥野”⇒「奥野の文化」」のページにPDF資料があります
<http://homepage2.nifty.com/dejicon/z-DC/okunoes/Kouku-okuno/kouku-meisyo-index.htm>

“奥野”の家々に代々つたわること、
 地区としてつづくこと。
 それらは、奥野の文化。
 今、あらためて調べ・まとめ、伝えては？

おわり